

# 金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2021/10/04号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



## 【ゴールドマーケットの現状】

### パウエル議長、雇用への懸念でゴールド上昇

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



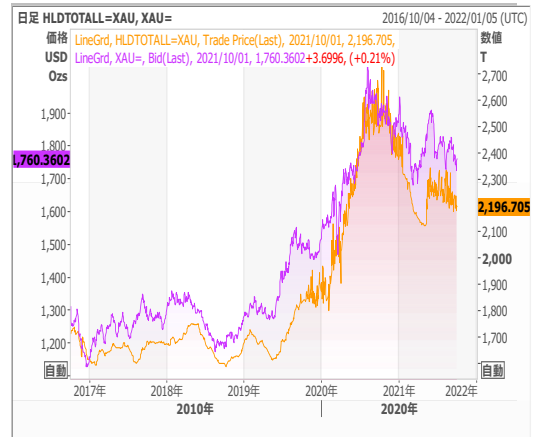
FOMCの結果上昇する米国長期金利にドルが強含むというゴールドにとっては非常に強い逆風マーケットになりました。ゴールドは一時1726ドルと4月初旬以来の安値に。しかし、そこから40ドルの急騰。パウエルFRB議長議会証言で、U.S. still far from full employmentと述べ、同日のJobless claim(新規失業保険真数件数)が3週間連続で増加(1.1万件増加で36.2万件)となったことからゴールドに入っていたバーゲンハンティングの買いに、より勢いを与えて1763ドルへと大きく上昇することになりました。やはり安値では実需筋の買いも入っており、ショート筋もゴールドの底堅さを感じていたのでしょう。一挙にショートカバーが膨らんだという印象です。注目の米国の債務上限引き上げの問題は、とりあえず12月までの「stopgap measure」つなぎ予算が合意されたようですが、現在の債務リミットに対する法案は何も可決されていません。このままでは債務に対する金利の支払いが不可能になります。過去何度か政府機関のシャットダウンがありましたが、債務に対する金利の未払いだけは回避できており、イエレン財務長官が言うように米国の信頼にかかわる重要な問題であり、そのデッドラインは10月18日であり、ここだけはなんとしても死守しないと未曾有の金融危機を引き起こす可能性があります。現在の米国の債務上限は28.4兆ドルです。金曜日に発表された8月のPCE(個人消費支出)は4.3%の上昇で、31年ぶりの数字。インフレはtransitoryとFRBは言い続けていますが、一時的とはいつまでなんのでしょうか。FRBの見方をマーケットもそのまま受け入れています。このtransitoryが長引いてもはやtransitoryと言えなくなったとき、ドルの価値そしてその裏側の商品の価値にも見直しが大きく入ってくる可能性があるのではないのでしょうか。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項(ディスクレマー)をお読み下さい。

## 【マーケット・トピック】

### ゴールドの歴史 (3)

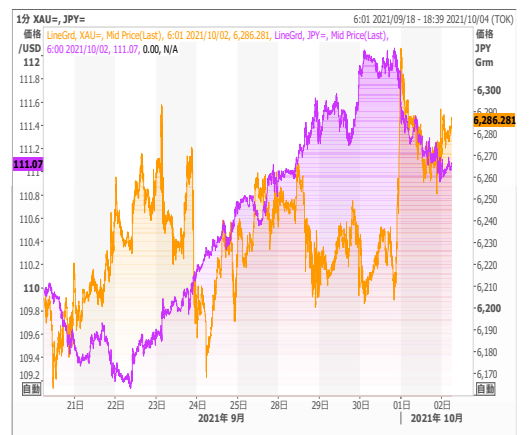
「ドル・ゴールド本位制」、または「IMF体制」とも呼ばれた「ブレトンウッズ体制」は少なくとも戦後しばらくの間はその役割を十分に果たしました。しかし、世界経済が復興し、世界の貿易や資金の移動が拡大していくとその体制に軋みが出て来ました。早くも1950年代には米国は朝鮮戦争そしてその後60年代にはベトナム戦争へと突入することになり、米国はドルを印刷することによってそれらの戦争をファイナンスします。その結果物価は高騰し、米ドルの購買力は大きく低下、そして国際基軸通貨としての米ドルの信頼は大きく損なわれることになり、多くの国々がその保有している米ドルをゴールドに交換することを米国に求めるようになりました。米国のゴールド準備は当時の世界の中央銀行の持っている「マネタリー・ゴールド」の三分の二を占めていましたが、世界各国、特に西欧の諸国から、当時は米国外にあった「ユーロ・ドル」をゴールドとの交換のため米国に持ち込み、ゴールドの「引き出し」を進めた結果、あっという間にその残高が減っていきました。2万トンあった米国の保有ゴールドが、他の国々の引き出しにより8000トンまで減少し、もはや米国のゴールド支払い能力は破綻寸前という段階でした。その結果が1971年8月のニクソン大統領による突然のドルとゴールドの兌換停止宣言だったのです。ドルとゴールドの関係が断ち切られたこの日を境に世界の通貨もゴールドもドルとの固定相場から、日々刻々と価格が変動相場へと変わることになりました。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 [info@jbma.net](mailto:info@jbma.net)

### 池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は  
ツイッターで

